

事業所名 ハピネス国際キッズサポート 支援プログラム 作成日 8 年 1 月 14 日

法人（事業所）理念		一人ひとりのお気持ちにそっと寄り添い、安心してその人らしく過ごしていけることを目指しています。			
支援方針		・一人ひとりの個性に合わせた支援の提供。・安心して過ごせる生活の提供と、五感を通じてさまざまな体験の提供。 ・ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。			
営業時間		月曜日から金曜日：10時00分　～　19時00分 学校休業日：9時00分　～　18時00分	送迎実施の有無	○あり　　なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持や改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得の支援。食事、排泄、睡眠、着脱、身の回りを清潔にすること等、基本的な生活習慣を身に付けられるようにスモールステップで支援を行う。おやつは市販のヨーグルト等を提供。口腔内機能・感覚等に配慮しながら可能な限り個別に対応。おやつ時と遊びの途中で水分補給を行う。			
	運動・感覚	・運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援。滑り台・バランスボール・ボール遊び・一本橋等、複数の運動遊びを通して、体の動かし方を学び運動の楽しさを感じると共に、運動能力の向上に繋げる。“操作性”“手指機能”等の成長を支援。水・砂・粘土・絵の具等の感触遊びを通して、さまざまな素材の感触やにおい、音などを感じ五感を育む。想像力や思考力を養う。			
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防及び対応を支援。大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行う（スケジュール説明時に日付・人数を確認等）。　　記憶、弁別力、構成力を養う。“着席”“よく見る”“少し苦手なことも頑張ってみる”等、課題に向く姿勢や力を養う。　　状況の変化への対応（適応の難しさ等への支援）。			
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。“要求”“報告”“聴く”“模倣”“観察する”など、自分も周囲の人も大切にすることを学ぶ。言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、こどもに合わせた視覚的な支援を行う。			
	人間関係 社会性	・スキンシップ遊び等を通して、アタッチメントの形成を図り、情緒が安定することで安心して過ごせるよう支援していきます。児の特性に応じた、感覚運動遊びから象徴遊び、一人遊びから協同遊びを通して社会性の発達支援を行います。大人との関係、異年齢同年齢の友だちとの関係の構築。また、地域や社会の活動に参加できるよう支援します。			
家族支援		・事業所での支援をご家族と共有することで、よりよい支援に繋げていけるよう心掛けています。ご家族参加型の行事を行っております。 子育てに関する困りごとに対する相談援助。こどもの成長の共感・確認。			
地域支援・地域連携		・こどもに関わる地域の関係者／関係機関との連携（保健・医療・福祉・教育） ・相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携	職員の質の向上	事業所内での定期研修（支援・障害特性理解）及び法令基準遵守等に係る外部研修の受講を月1回以上を目処とした受講	
主な行事等		防災訓練（引き渡し訓練）・お花見遠足・父の日母の日プレゼント作り・エッグハント・バレンタインチョコ作り・夏の水遊び・科学体験館・クリスマス会等			